

2023 年 10 月 3 日

アンケート調査結果

日本アニメーター・演出協会
代表理事 入江泰浩

【アンケート概要】

調査対象：アニメ業界で働く女性

調査方法：オープンWebアンケート（無記名）

調査期日：2023/9/15～19

実施機関：一般社団法人日本アニメーター・演出協会

有効回答数：24件

（以下、抜粋、一部修正）

【ハラスメントについて】

1. フリーランスで働いている中では、かなりいい状態で働かせてもらっているかと思います。ただ、明らかに「女性だから舐められてる」または、男女関係なくパワハラ気味な方だな、という場面は確かにあります。かなり少ないですが、あります。その制作進行の上長に報告できる場合はしています。その人自体がプロデューサーなどで、上長にちょっとアレは…と報告できない場合は、他班経由で連絡したり、同業の女性とあそこはちょっとひどい、など情報共有している感じです。
2. 特にありません
3. ハラスメントを受けることはないです
4. 人の入れ替わりが激しいので、特に気になったことはありません。
5. 受けたことはありません。が、そのような行為を受けた場合、直接訴えて話が通じないようでしたら、弁護士を立てるかと思います。
6. 質問ただけでお前のチェック降りてもいいのかとか追い込み型の精神的な方（こちらは在宅中LINE等のやり取り）「頭が弱いんだから考えないと」等の同性のプロデューサー系からの言葉と身体的（胸のことなど）、風俗していないのかなどの発言を言われたことはあります。
7. 私自身は無いが、パワハラを受けてた人を見たり相談されたりしたことはある。直接上長に訴えたが、パワハラしてる人の方が会社として必要な人材だとして取り合って貰えなかった。
8. 意見をはっきり伝えるタイプだったので社長に煙たがられ色彩設計をやる機会を与えてもらえなかった（色彩設計をやる機会は年功序列で回ってくるため、機会はあったはずだったが、自分の番から自分より歴が上の人たちで回るようになったので機会がなかった）
9. 新人時代ですが、ベテランの色彩設計、色指定、制作プロデューサー、制作デスク、制作進行、制作事務、女性演出家、男性メカニックデザイナーからの精神的な攻撃、人間関係からの切り離し、過大な要求、対価型セクシャルハラスメントなどが多々ありました。「うちのスタジオの制作進行と付き合ってくれ」と言われたり、友人と食事に行ったら「あの人と付き合っているんですか」と都度確認されたりしました。午前11時からスタジオに待機していたのに突然「今日の

深夜に素材入れがあるので、帰らずにこのまま明日の朝までに見て欲しい」と言われ、そのまま3日間は眠ることも、食事を摂る時間も満足に取れない、その話数の作業が終わるまで家に帰ることも出来ないということが毎週あり、それがトータルで3ヶ月以上続いたこともあります。その上で「名前を出すほどの働きではないから」とスタッフのテロップからは外されていました。スタジオ全員に出前を取った時にも私の分はありませんでした。いま思えばスタジオ総出でのいじめだったと思います。心療内科に通院することになりました。制作スタジオでの相談相手、相談出来る役職の人はいませんでしたし、ネットもありませんでしたし、相談する場所がどこなのか、当時は何もわかりませんでした。私よりも前に心を壊した人たちに対して「あの人はキチガイだから」と言っているベテランの人を見かけてショックを受けました。心療内科に通ったりすることを明かすことに恐怖を覚えました。今でも当時のことを思い出すと恐ろしいですし、当時、私に嫌がらせをしていた人の一部からは、今でも人間関係の切り離し、私の取引先へ私に関する誹謗中傷の電話などが時々あると聞いています。それに対してはどう対処すれば良いのかわかりません。一度依頼が来て「会社都合で出せなくなった」と突然に仕事を切られる事も度々ありますが、対処のしようがないように思います。口約束ではなく、きちんと契約書を交わすことがあれば多少は違うのでしょうか。信頼して依頼してくれる人からの仕事を地道にこなしていく以外に思いつきません。

10. 助監督時、監督からパワハラモラハラを受けた。話数演出時、監督からパワハラモラハラを受けた(別人数人から)。監督時、社長からパワハラモラハラ脅しをうけた。制作進行時、デスクからパワハラモラハラを受けた。
11. 現在はありますが過去はありました。(特にパワーハラスメント)
12. 作画部部长から酔った勢いでキスをされた(ハラスメントかわかりませんが)。別の飲み場でプロデューサーが「もし部長がセクハラしたら会社が守る」と言っていたのを聞いて、相談は諦めました。会社を辞める際に、手続きをしてくれた事務らしき人に言いましたが、聞き流されました。総作監(キャラデ)と演出の人にそれぞれ太ももを触られた、総作監から性的な言葉をかけられた(環境型セクハラ)。総作監のときはプロデューサーに言いました。同じ場にいた第三者が本人にそのことを伝えたため、本人から怒られました。
13. 上司から個人的な用事を業務時間中に何度も頼まれる。周囲に相談するようにしています。雑談において女性を見下すような発言がある。
14. 業務委託ではあるが入社していた会社で永続的に拘束という口頭の約束ではあったが出産でクビになった子供を産んだ方が悪い、女性は子供持ったらダメだよ、仕事忙しい時に何やってんの？つわり甘え？俺の嫁はそんなこと言わなかったよ。
15. 自分ではありませんが、制作室でプロデューサーが進行さんに長時間人前で叱責しているのを見た事があります。傍から見ていて過剰に攻撃されていて生産的ではないなと思いましたが、自分からは何も出来ませんでした。
16. パワハラに関して6種全てあり、受けた当事者です。ずっと我慢して退職交渉を弁護士に依頼しました。
17. パワハラは前いた会社でも今の会社でもありました。経営者、教育者など上の立場の方からです。別の上司や先輩に相談しました。

18. 対価型セクシャルハラスメント：10年以上前ですがフリーで一緒に働いていた女性に対して、発注先の会社から彼女を移籍させないと仕事を無くすようなことを言われたので、それ以来縁を切っています

【仕事の両立について】

1. 育児中で時短勤務ですが、かなり配慮していただいています
2. 完全にフリーランスなので、息子の世話ができる程度に自分で仕事を調整しています。
3. 現在フリーで契約している会社は2件ですが相談にはむしろよく乗ってくれています
4. 現在私は3歳の子供を育てつつ、アニメの仕事もしています。仕事に復帰したのが2年ほど前で子供が1歳過ぎた頃でした。家事と仕事の両立は思った以上に大変で、アナログからデジタルに移行する時で余計に覚えることや、時間配分、帰宅後の育児家事はかなりキツかったです。その中で私は完全拘束でお仕事させて頂き、プロデューサーの方が理解があり無理な仕事は振らない、何かあれば相談が出来る状況でしたのでとてもありがたい環境でした。話数の制作さんとのやり取りもこまめに連絡を取る事で、出来る出来ないを明確にして進めています。それでもどうしても締め切りが近い仕事などは夫と協力し、朝始発でスタジオに入ることもありました。あと、外からの仕事の依頼があっても全てお断りさせて頂いています。私の現状を理解して貰っている上での仕事だと安心感がありますが、外の仕事はどうしてもそこまで考えて仕事を振る状況にはなく、無茶なスケジュールや締め切りを迫られます。私は恵まれた環境で仕事を出来ている方だと思うので、もっとアニメ業界自体が働き方の自由、金銭的な面も含め改善進む事を願います。
5. 子供の体調不良やイベントごとがある時、都度相談すると融通きかせてくれるのでありがたいです。先日父が倒れ入院になった際は持っていた仕事を他に振ってくれて2週間程お休みさせて頂いた上に、その際の支払いも変わらず出してもらえて本当に助かりました。別会社からも拘束の相談がきてましたが、今の会社が必要としてくれる間は恩返ししようと思う位良くしてもらってます。
6. 正社員ですが、介護のため、自宅での作業を認められているのでありがたい。コロナによる自宅作業の期間があったから、そのまま延長という形になったが、そうでなければ難しかったかも。
7. 正社員のアニメーターです。育休を終えて復職する時、生活が落ち着くまで在宅勤務をメインにしたい旨を話したら快く受け入れて頂きました。自分が育休中、夫(アニメーター)も育休を取りたいと会社に話していたにも関わらず、制作スケジュールの崩壊や人手不足等の理由で結局夫は育休を取れませんでした。会社には人員の確保に真剣に取り組んでほしいです。私は復職してからは軽めの業務をさせてもらっていますが夫は子どもが生まれたからといって業務内容、量は変わりません。その結果、家事育児の負担は私の方が多くなり、特に保育園関係の対応、子どもの病時対応等は仕事への影響が大きく、しかし社員である以上は毎月実績を上げなければならず、育児と仕事の両立はとても難しいと感じています。共働きとは何だろうと思います。アニメ業界に限りませんが、会社やスタッフは子を持つ母親への配慮はあっても父親への配慮には欠けていると思います。(収入や実績の事を考えて父親本人がそれを望まない場合も多いと思いますが。)

8. 妊娠等ではなく婦人科関係の疾病ですが、その都度あがり（納品）時期やスケジュールを相談して解決している（してもらっている）感じですが。具体的に言うと、スケジュールを後ろに倒してもらい、どうしても動けない時期はヘルプを入れてもらう、などです。病気についてはかなり、言い出しづらい、共有しづらい事柄ですが、気にかけてくださる方は本当にありがたいです。
9. 両立するにあたり、進行さんと相談は致しました。量を減らすなどの配慮をしていただいています。ただ、なかなか言い出しにくいこともあり、無理をすることも多かったのですが、これに関してはお互いにハウレンソウが大事だな、と思っています。
10. 今年の4月に入社したばかりのアニメーター（動画）です。父と兄と暮らしているのですが、昨年就活中に兄が要介護になりました。それを受け父も鬱になり、私が主に介護しています。入社後の面談で会社にそのことを伝えたところ、「直接的なことは助けられないかもしれないけれど、メンタル面や仕事の働き方（在宅に切り替え等）支えられることがあったらいつでも言ってください。」と仰っていただきました。半年経った今、指導担当方からは「家のこともあるだろうけど、こっちを優先して。」と言われ、たしかに働かないとお給料いただけないかつ動画は枚数描かないとお給料が厳しい業界だし、これからの成長、この業界を生き抜くことを思って仰っていただいているのだなと感じました。ただ、精神病で家族以外の人と関われないことや金銭的にも訪問看護等も利用できず、仕事一本に集中したい気持ちは山々ですが、そうできない現状で心苦しいです。仕事して、家で勉強時間もとりつつ、家事、介護、そして障害者年金の手続きなどで結構いっぱいいっぱいの上に、今年は新人で固定料いただいているのですが来年はたして生きていけるのかなと不安が拭えません。やっと叶えられた夢の仕事なので、この業界で生きていけるような体制ができれば…と切に願っております。
11. そもそも休むことが多くなる前提だと仕事を請けられない。
12. 現在フリーランス。スケジュールに対して柔軟に対応してもらっている、演出に関しては時間的な縛りアフレコや編集立ち合いがあるので難しいねと言われたことはある。とはいえ業務委託で単価作業している時点でスケジュールや、カット数を調節してもらったところで金にならないので続けられる続けられないの話になると子供や家族を犠牲にしない限り難しい
13. 今は少しは改善されているのかもしれませんが、先輩にお子さんが産まれた際に「あの人はお子さんがいるから仕事が出せない」など言っている人が何人もいて「自分も子供を持ったら仕事を回してもらえなくなるかもしれない」と思ってある程度仕事の実績を積むまでは子供を持つことは困難だと感じました（結果として適齢期は過ぎて、身体的にも産めなくなりました）。結婚後に「旦那さんがいるから働かなくても良いでしょう」と仕事を回してもらえないこともあります。結婚、出産にネガティブな印象を持つ会話を職場でされると、萎縮することがあると思うので、会社としても個人としても意識を変えていって欲しいと思います。
14. 土日作業を当たり前だと思わないでほしい。無茶なスケジュールで進めるのをやめてほしい。制作側に育児経験がないのか。
15. 妊娠・出産・育児に関しては経験があります。配慮はあると思いますが、根本的に妊娠・出産・育児は経験しないと理解しづらいことがあると思います（おそらく介護も）。ガイドラインがあればいいのかもしれないです。（締め切りの配慮など）

16. 妊娠の前に、妊活のために仕事をセーブしたいのですが、振ってくる仕事が多すぎてセーブするのが難しいです。拘束や仕事を断るために「妊活」という個人的な事情を説明しないといけないことも苦痛です。伝えたところで、依頼してくる量もそんなに変わっていないように感じます。
17. 配慮はありません。
18. 夜に打ち合わせをセッティングされがちなので、育児との両立が難しい
19. そもそも妊娠出産育児でほぼ引退されてしまう女性アニメーターさんが多いです。せっかくの特殊能力ですし、デジタル作画も日々進化してきているので、続けられる環境ができるようになってほしいです。
20. 国にお願いしたいことはいっぱいありますが（託児所やベビーシッターの費用を経費に/フリーランスでも使える育休に代わる保険/扶養にかかわる税控除 or 給付金についてなど）、現状かなり融通がきくため事業者には取り立ててはありません。男女や子供がいるいないに関わらず、必要なときに長期間休めて復帰しやすい空気があるのはとても先進的だなと思います。あえてお願いするなら、結婚や子供を考えられるように労働時間やお金の待遇を改善してほしいです。

【その他】

1. 一般的な企業と比べて、アニメの世界は ハラスメントへの自制が効かない人が多いように感じます。「社会経験のなさから来ている」と事業主には言われたことがあります、そのとおりだと思います
2. “「おきにいり」がいて社長に媚びれば当事者本人が仕事ができない人間でもいい仕事を振ってもらえるだとか、社長に楯突く（正当な意見も社長にとって煩わしい不都合な意見は面倒ごとと捉えられる）人は仕事が与えられなかったり逆に大変な仕事をいくつも並行で指名されて任されてしまい寝る時間もないほど働いていたりします。社長だけが鼻息する人間だったらまだマシでしたが使えない酷い制作（自分の不手際を上司の政策になすりつけるような人）が自分の容姿を武器に社長に媚を売り実際に涙を流し泣きついてヨシヨシされ自分は「その制作をいじめる悪いやつ」に仕立て上げられました（その制作の不備は素材紛失や集計表のつけられてなさの指摘など、当たり前のことできてないことでこちらの作業に影響が出ていることに対してでした。）。媚を売ればいい役を与えられる・高いお金がもらえるシステムは存在し、社長が個人的に気に入らない人間はその逆になる状況が存在します。”
3. 開けている業界では無いのですが皆精神的に余裕がないのか当たる方は当たりますが、良識のある方が残ってるかと思われませんが、教育するという点に関して他業種と違い昇格がなく責任感がともわず、自己の仕事もあるのでその合間に教えるのと、絵の自己評価の仕事なので結構な方が自己評価高いプライドもっているようで、肯定感は低いので、何年経っても怖くて確認ができない等の報連相が難しい方もいらっしゃるよう見えます…。多方面とお仕事しているのでゲーム PV、MV、海外アニメ、国内アニメスタジオどこが精神的安定しているかわかりませんが（それぞれの良さもありますので）。ですがそれぞれのスタジオで動画さんから入るのは少なくなっている気がします…。月の拘束費用が 15 万あれば修行できる方、作監でも 10 万～とまちまちなので悩ましいところです…。作品数とアニメにおける用途が増え男女関係なく作

業者が需要より少なく難しいことになってると思います…。全体的なパツとした感想ですが長々と申し訳ございません。集計お疲れ様です。

4. 口約束の具体的な仕事のオファーがなかった事にされた事が5回くらいあった
5. 自営業なので、保育園にお子さんを入れるのに大変苦勞をする、または入れられず困っているアニメーターさんやフリーの制作の話を何度か聞いてきました。
6. 個人的な印象ですがフリーランスが集まるタイプの会社より全スタッフを社員採用している会社の方がパワハラは顕著ではないでしょうか。
7. 自分の場合は出産前にある程度キャリアを積んでいたもので、出産後に版權イラストの仕事をいただいたり、設定を描くなどして過度な仕事にならないよう仕事に復歸できました。その後はスケジュールのない仕事でも、同業の夫と自宅作業で仕事をやりくりしながら助け合って子育てしています。もし二人ともリモートの自宅作業でなければ、とっくにつぶれていました。今は保育園で長時間預かっていただけますが、小学校にあがってからはそういうわけにはいかないので、夏休みなどは仕事を休業しなくてはならないか不安です。
8. 自分は正社員アニメーターなので、産休育休中も復職後も、それほど不自由なく働いています。しかしフリーの人はそうはいかないと思うので、何かしら配慮等は必要だと思います。
9. 社長が自分勝手な法律でルールを決めることが多い。土曜出勤が当たり前で手当てもなく長時間拘束されるのが辛い。制作進行の名ばかり業務委託を辞めてほしい。最初から新卒フリーランスになりたいと言ってなったわけではないので会社が責任をもって雇用してほしい。
10. 修正などの紙上で業務連絡以外の感情（怒り）などを書いてくるのはハラスメントなのでしょうか。「書かれなくなかったら上手くなれよ」で終わりのような気もしますが。作画さんが偉そうに制作進行さんに命令などをしている場面も見たことがあります。理不尽な上下関係（？）など改善した方が良くと思います。テレビシリーズなど製作期間がなくてイライラしているのもわかりますが。
11. 正社員の人が産休を取ったり、自宅作業に転向するのは認められてるが、フリー（業務委託）の人が正社員になりたいと思っても、介護や育児がある人は正社員にしてもらえない。子持ちでも男性は社員にさせてもらいやすいが、女性は難しい。男性の正社員が育休などを取ってるのも見かけないので、男性も取りにくいと思ってるかも。
12. 生理痛や PMS が毎月酷く、病院にも通っていますが、その間の作業効率が落ちることに関して制作さんに言いづらいです。無理に仕事をして余計に悪化するので良くないのですが、毎月のことなのでその都度言うのも申し訳なく、拘束契約をしないことが一番なのかなと感じています。ただ、今の業界は拘束料がないと厳しい単価なので、子育てを考えたときに収入面の不安があります。出来高でやっていけるくらいの水準になったら嬉しいです。
13. 昔働いていたスタジオで女性は子供を産んだら業界を引退する的な横暴な考えの方がいてとても遺憾に思った事があります。今のご時世、出産後も女性の活躍の場をもっと増やして、無理な働き方ではなく環境に合わせた自由な働き方が出来る事が課題だと感じます。スタジオに所属出来る人はそれなりに環境も整ってきていると感じますが、そうでない人は女性に限らず、金銭的にもスケジュール的にもかなり厳しい仕事を振られていると感じます。
14. 単価が低く作業の時間のかかるアニメーションの業務委託形式で子育てしながらの仕事は不可

能、業界自体もアニメの本数が増え作業できる人間も少なく、会社も育成費用を出すつもりもない会社の方がまだ多い状況で作業の再配分も出来ずやってもらわないと困るしか言わない素人に毛が生えたような制作、プロット等にスケジュールを当てすぎる業界のスケジュールリングの甘さで原画以降の工程に皺寄せが行き拘束の制作進行たちに予算を食い潰され金がないと言われても経営能力の低さとしか思えない。インボイスなんか始まったら保育園のお金を考えると働かないほうがマシ。

15. 突発の休み(子の病気など)の際、融通はきかせてくれるが基本的な締め切りは変わらないのでそこはきついな、と感じます。自営業なので自分が病気になったり怪我をした時どうしようとか、退職金が無いので老後を考えると不安は尽きません。
16. 夜型のスタッフが多く、時間を合わせるのが難しい
17. ギャラの設定について、作品単価、話数単価が多いのですが、色彩設計に関しては作業設定点数を考慮した金額か、作業期間中は完全月額固定にして欲しいです。昨今は作業点数が多い上に作業時間も満足に取れるものが少ないように感じます。会社都合でのスケジュールの遅延に関する保証(金額の上乗せ、別の仕事の発注など)が必要です。
18. フリーランスが多い業界なので育児や介護等で仕事が出来ない期間が発生しても何の保証もない。
19. まだまだカットを選ばないといけない為、お給料が低いことは納得しているのですが、「昔はもっと低かったからいい方」と聞いて少し違和感を感じました。会社の方々からそれは当たり前かもしれないのですが、物価高騰していますし、業務委託なので保険料等の支払いを考えるとお給料の感覚に少し戸惑いを覚えました。
20. 今回のアンケートが女性作業者に限った質問なのですが、現在裁判中の放火事件で、その証言が無加工で各種メディアで報道されているため、かなり懸念しています。当事者の方は現在進行形でかなりつらい立場なんじゃないか、女性クリエイターで目立つだけで、なぜこんな思いをされなければならないのか、と心配しています。(今回の関連で、女性クリエイターに危害を加える予告を SNS で DM を送られた方も他にもいるので…)メディア側には無配慮に被告の意見を流さないでほしいと、janica 側からの働きかけはできないでしょうか。ニュースを読んだ大多数は事実ではないだろうと判断できるかと思いますが、そうでない人もいるかと思うと、かなり危ない状況かと思っています。
21. ちょっとずれるのですが、女性の制作さんが増えて仕事しやすくなりました。

以上